



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年12月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521
四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の業績（平成27年9月1日～平成27年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	3,567	0.8	△110	-	△118	-	△101	-
27年8月期第1四半期	3,535	2.4	△106	-	△116	-	△82	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第1四半期	△40.22	-
27年8月期第1四半期	△32.79	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第1四半期	10,683	2,065	18.9
27年8月期	9,268	2,200	23.3

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 2,025百万円 27年8月期 2,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	-	0.00	-	15.00	15.00
28年8月期	-	-	-	-	-
28年8月期（予想）	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年8月期の業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,618	6.5	336	34.0	316	36.4	155	37.0	61.36
通期	18,037	6.2	436	106.9	394	130.9	183	241.2	72.27

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期1Q	2,532,400株	27年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	28年8月期1Q	－株	27年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期1Q	2,532,400株	27年8月期1Q	2,530,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、中国経済の減速や株価の下振れリスク等もあり、先行き不透明な状況が続いております。個人消費については、生活必需品の価格上昇等もあり、いまだ本格的回復を実感するには至っておりません。

このような状況下、当社は、不振店対策、オリジナルブランド商品ハッピーキャンドルのブランド強化、EC(ネット通販)の本格稼働、販売費及び一般管理費の管理強化を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。

商品施策といたしましては、客数増加に向けた取り組みとして、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化を図ってまいりました。また、ハッピーキャンドル商品については、秋冬の新作商品を投入するとともに、雑誌掲載による広告宣伝とノベルティ販促等による販売強化を通じて、ブランドの強化に努めてまいりました。

販売活動の施策といたしましては、3店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや宝飾催事・アウトレットセール等の販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

店舗展開といたしましては、広島祇園店(広島県)、磐田店(静岡県)、新三郷店(埼玉県)の計3店舗を新規出店いたしました。磐田店及び新三郷店は、既存の大型商業施設らぼーとへの出店となっております。これらにより、当第1四半期末の店舗数は68店舗となりました。

改装につきましては、前期より着工いたしました千葉ニュータウン店、盛岡店、筑紫野店が9月に改装オープンいたしました。また、11月から12月にかけて、和歌山店について好立地の区画への移転改装を実施いたしました。これら新規の出店と改装については、既存什器設備の活用等により出店・改装費用の抑制に努めました。

ECにつきましては、チャンネル戦略として9月にAmazon店、10月に楽天市場店をオープンいたしました。また、メールマガジンの配信及び広告宣伝を強化するとともに、Webサイトの精度と商品力の向上に努めました。

商品部門別の売上状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品の展開を強化したことで売上高602,198千円(前第1四半期累計期間比4.5%増)、時計は海外ブランド時計が伸び悩んだものの、国産ブランド時計の販売が好調で売上高994,962千円(同2.2%増)、バッグ・小物は一部の海外ブランドが振るわず売上高1,970,580千円(同0.8%減)となりました。

また、業績改善へ向けて4店舗の改装や好立地への移転及び不振店2店舗の閉店を決定した結果、特別損失として固定資産廃棄損8,855千円、減損損失8,029千円等を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,567,741千円(前第1四半期累計期間比0.8%増)、営業損失110,092千円(前第1四半期累計期間営業損失106,749千円)、経常損失118,974千円(同経常損失116,600千円)、四半期純損失101,858千円(同純損失82,980千円)となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,685,581千円となり、前事業年度末と比較して1,294,558千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた商品確保により商品が1,314,508千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,998,378千円となり、前事業年度末と比較して121,396千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が52,588千円、工具、器具及び備品が37,674千円、敷金及び保証金が18,342千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,528,168千円となり、前事業年度末と比較して1,317,814千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた資金調達や商品確保により支払手形及び買掛金が974,930千円、電子記録債務が61,585千円、短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が80,349千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、4,090,450千円となり、前事業年度末と比較して233,589千円増加しております。これは主として、新規出店に向けた資金調達により長期借入金が184,468千円、割賦による設備投資によりその他が54,460千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、2,065,341千円となり、前事業年度末と比較して135,448千円減少しております。これは主として、配当金の支払いや四半期純損失の計上により利益剰余金が139,844千円減少したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月13日に公表いたしました平成28年8月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,656,926	2,402,707
売掛金	805,450	922,920
商品	3,622,642	4,937,151
貯蔵品	108,697	111,735
その他	197,305	311,066
流動資産合計	7,391,022	8,685,581
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	655,899	708,488
構築物(純額)	28	26
工具、器具及び備品(純額)	319,857	357,532
リース資産(純額)	20,992	18,806
建設仮勘定	486	918
有形固定資産合計	997,262	1,085,771
無形固定資産		
ソフトウェア	18,021	28,378
リース資産	8,342	6,371
その他	126	126
無形固定資産合計	26,489	34,876
投資その他の資産		
関係会社株式	88,159	88,159
敷金及び保証金	525,447	543,789
その他	259,749	265,758
貸倒引当金	△1,436	△1,286
投資損失引当金	△18,690	△18,690
投資その他の資産合計	853,229	877,730
固定資産合計	1,876,981	1,998,378
資産合計	9,268,004	10,683,960

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,786	1,696,716
電子記録債務	344,022	405,607
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,660,962	1,741,311
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	11,991	7,400
賞与引当金	54,920	83,608
ポイント引当金	5,357	7,438
その他	391,314	466,087
流動負債合計	3,210,353	4,528,168
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	3,301,741	3,486,209
資産除去債務	96,232	100,893
その他	448,886	503,347
固定負債合計	3,856,860	4,090,450
負債合計	7,067,214	8,618,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,526,621	1,386,777
株主資本合計	2,164,766	2,024,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△205	781
評価・換算差額等合計	△205	781
新株予約権	36,228	39,637
純資産合計	2,200,790	2,065,341
負債純資産合計	9,268,004	10,683,960

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)
売上高	3,535,944	3,567,741
売上原価	2,675,975	2,704,164
売上総利益	859,968	863,577
販売費及び一般管理費	966,717	973,669
営業損失(△)	△106,749	△110,092
営業外収益		
受取利息	409	425
受取配当金	197	217
業務受託料	372	356
受取保険金	—	194
その他	424	535
営業外収益合計	1,404	1,729
営業外費用		
支払利息	10,820	10,151
その他	435	460
営業外費用合計	11,255	10,611
経常損失(△)	△116,600	△118,974
特別損失		
固定資産廃棄損	—	8,855
減損損失	—	8,029
店舗閉鎖損失	—	2,750
特別損失合計	—	19,635
税引前四半期純損失(△)	△116,600	△138,609
法人税、住民税及び事業税	4,090	4,353
法人税等調整額	△37,709	△41,104
法人税等合計	△33,619	△36,751
四半期純損失(△)	△82,980	△101,858

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。